

ConMas i-Reporter

カスタムメニュー

概要説明書

2022.08.18

改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2015-04-20	V5.0	－	初版を発行しました。
2016-10-13	V5.2.16090	P 26	内蔵カメラのバーコード解析方式の説明を追加
2017-08-30	V6.0	P 11,36	Windows版の未対応について追記
2021-04-14	－	－	NFCタグ（iPhone5S+NFCジャケット）に関する記述を削除
2021-04-21	－	P 26	NFCタグ（iPhone5S+NFCジャケット）販売状況を追記
2021-11-25	－	－	各設定画面の画像を、i-Reporter V8関連のものに更新
2022-08-18	－	P 26	NFCタグ（iPhone5S+NFCジャケット）に関する記述を削除

— お客様固有の

『カスタムメニュー』と

『デバイス』を使用した

新規帳票入力

現場での帳票作成を、
より簡単に、より早く、より正確に —

カスタムメニューとは

- カスタムメニュー機能を使用すれば、独自の業務メニューアイコンをタップするだけで、その業務に応じた帳票を起動することが可能です。
- カスタムメニューは、ConMas Managerにおいて、ユーザー自身で作成登録することができます。
- Managerで、作成、変更されたメニューは、iPad,iPhoneでのログイン時に自動で配信されます。
- 単に帳票を起動するだけでなく、バーコード、QRコード、iBeaconなどの『デバイス』を使用した帳票の入力が可能です。
- 『デバイス』が読み取ったコードの情報を抜き出し分解し、複数のクラスターに入力した上で帳票を起動することもできます。
- カスタムマスターとの連携した入力も可能です。
たとえば、読み取ったコードの一部から商品コードを読み取り、商品マスターを検索し、商品名称や金額の情報、商品の画像など、関連する複数の入力項目へ一括で自動入力して帳票を起動することなどが可能です。

機能のポイント

多くのお客様からのご要望

- **帳票を起票するまでの手順が多い。時間がかかる。**
 - 帳票ライブラリーから帳票定義、帳票を探すのに手間がかかる。
 - 帳票定義、帳票選択をいちいち作業者にやらせたくない。
 - 帳票定義、帳票選択をいちいち作業者にやらせたくない。
- **独自の業務メニューを設定したい。**
 - 作業者にわかりやすい業務メニューから帳票を起動を行いたい。
 - 会社ロゴやシステムの名称などを表示したい。
 - 帳票起動時に作業者へ任意のメッセージを通知したい。

ご要望 バーコードやQRコードから帳票入力

モノについているバーコードやQRコードを読み取ることで帳票に情報を簡単に入力できないか？



- － 実際に製造するモノや設備にバーコードやQRコードが貼られて現場運用されているユーザーは多い。これを使って、より簡単にミスのない、すばやい入力を実現したい。
- － 帳票起票時にカスタムマスターを利用して自動で入力したい。
- － 自動帳票作成で事前に帳票を生成するERPなど基幹との連携の開発は大変。QRコードなどの発行は現場側でやりやすい。
- － 30秒～45秒タクトの製造ラインでの検査結果の記録にも、使用できるようにして欲しい。現状では帳票を選んでいるうちに時間がなくなってしまい適用が困難。

ご要望 新しいデバイスの利用

- **新しいデバイス、iBeaconを使用した帳票の入力を行いたい。**
 - iOSが標準で対応するiBeaconを使用した帳票入力を行いたい。

機能のポイント

- より簡単に、ミスのない、すばやい入力をするために以下の新機能を実装しました。

① ユーザーが独自に設定可能なカスタムメニュー機能

- Managerでカスタムメニューを自由に設定
- ログイン時にカスタムメニューを自動で更新
- デバイスを使用せず指定された帳票定義を起動

指定された帳票定義は、帳票ダウンロード時間を短縮するためにローカルに保存した帳票定義があればそれを利用可能。

帳票定義は、まずローカルを検索、なければ、サーバーの順に検索し取得。ローカルに保存した帳票定義は、自動更新機能により常に最新化可能に。

- デバイスを使用して帳票定義、帳票を起動

② バーコード、QRコード、iBeaconなど指定したデバイスからの読み取りを行うことで自動で起票する機能

- デバイスが読み取るコードの一部から帳票定義を見つけて起動
- デバイスが読み取るコードの一部から帳票を見つけて起動
- デバイスが読み取るコードを分解して複数のクラスターへ自動入力して起票
- デバイスが読み取るコードの一部からユーザーカスタムマスターと連携して複数のクラスターへ自動入力して起票

機能のポイント

③ 通知メッセージ機能

- 帳票定義からの新規起票時に指定したメッセージを通知
 - 帳票の起動時に指定したメッセージを通知
- ※Windows版は未対応です。

④ ローカルに保存した帳票定義を自動で更新・削除する機能

- ローカルに保存した帳票定義は、Designerで編集し更新されると、ログイン時に自動で最新のバージョンに更新。
- 帳票定義に利用開始日、利用終了日の設定を追加。
利用終了日を越えた帳票定義がローカルに保存されている場合は、その帳票定義を自動で削除。

カスタムメニューの概要

iPad専用のカスタムメニューを自由に設定

14:08

78%

i-Reporter

タイトルメニューを設定可能

V5.0 カスタムメニューサンプル

独自のロゴ画像を設定可能

メニューボタン画像を設定可能

ボタンの名称を設定可能

カスタムメニューはすべてManagerで設定し、iPad,iPhoneへ配信

- [sample001]起票のみ
- [sample002]バーコード読み
- [sample003]QRコード+マスター (住宅定期点検)
- [sample004]バーコード読み、カスタムマスター連携
- [sample005]QR+マスター連携 (見積書_梱包明細書)
- [sample006]iPhone用QRコード+マスター (味付定期点検)

iPhone専用のカスタムメニューを自由に設定

The screenshot shows an iPhone app interface with a custom menu. The menu items are:

- [sample001]起票のみ
- [sample002]バーコード
- [sample003]QRコード
- [sample004]バーコード
- [sample005]QR+マス
- [sample006]iPhone用

Callout boxes provide the following information:

- ロゴ画像を設定可能 (Logo image can be set)
- タイトルメニューを設定可能 (Title menu can be set)
- メニューボタン画像を設定可能 (Menu button image can be set)
- ボタン名称を設定可能 (Button name can be set)
- カスタムメニューはすべてManagerで設定し、iPad,iPhoneへ配信 (Custom menu is set in Manager and distributed to iPad/iPhone)

カスタムメニューはManagerで一元管理

有効期限：2015/07/31

ログイン中：水野 貴司 [ログアウト]
Version: 5.0.5378

帳票定義 | 帳票出力 | 自動帳票作成 | ラベル管理 | 図書管理 | スケジュール | カスタムマスター | **カスタムメニュー**

カスタムメニュー

メニューボタン設定

表示設定

表示タイプ	<input type="radio"/> 設定なし <input checked="" type="radio"/> 画像とテキスト <input type="radio"/> テキストのみ
画像	ダウンロード 
名称	★QR★固定資産管理
文字サイズ	20
文字太さ	ボールド
文字色	Black
表示順	0

動作設定

定義を開く OR 帳票を開く	<input checked="" type="radio"/> 帳票定義 <input type="radio"/> 入力帳票
探索ルール	<input type="radio"/> デバイスを使用して探す <input checked="" type="radio"/> 帳票定義ID指定 定義ID：2152 定義名称：★QR★固定資産管理帳票 使用デバイス： <input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> QR(内蔵カメラ) <input type="radio"/> 外付けBarcodeReader <input type="radio"/> iBeacon <input type="radio"/> NFC <small>取得されるデバイスコードは、使用する帳票定義へデバイスコードを分解して複数の項目へ入力することに使用可能です。※帳票定義へのデバイスコード分解は、Designerで設定してください。</small>

メニューボタン設定1
★QR★固定資産管理
メニューボタン設定2
★iBeacon★住宅検査
メニューボタン設定3
溶接ロボット点検(iPhone用、NFC)
メニューボタン設定4
ビル点検
メニューボタン設定5
外観検査装置保守点検
メニューボタン設定6
露光装置 保守点検
標準メニュー

メニューボタンの表示設定

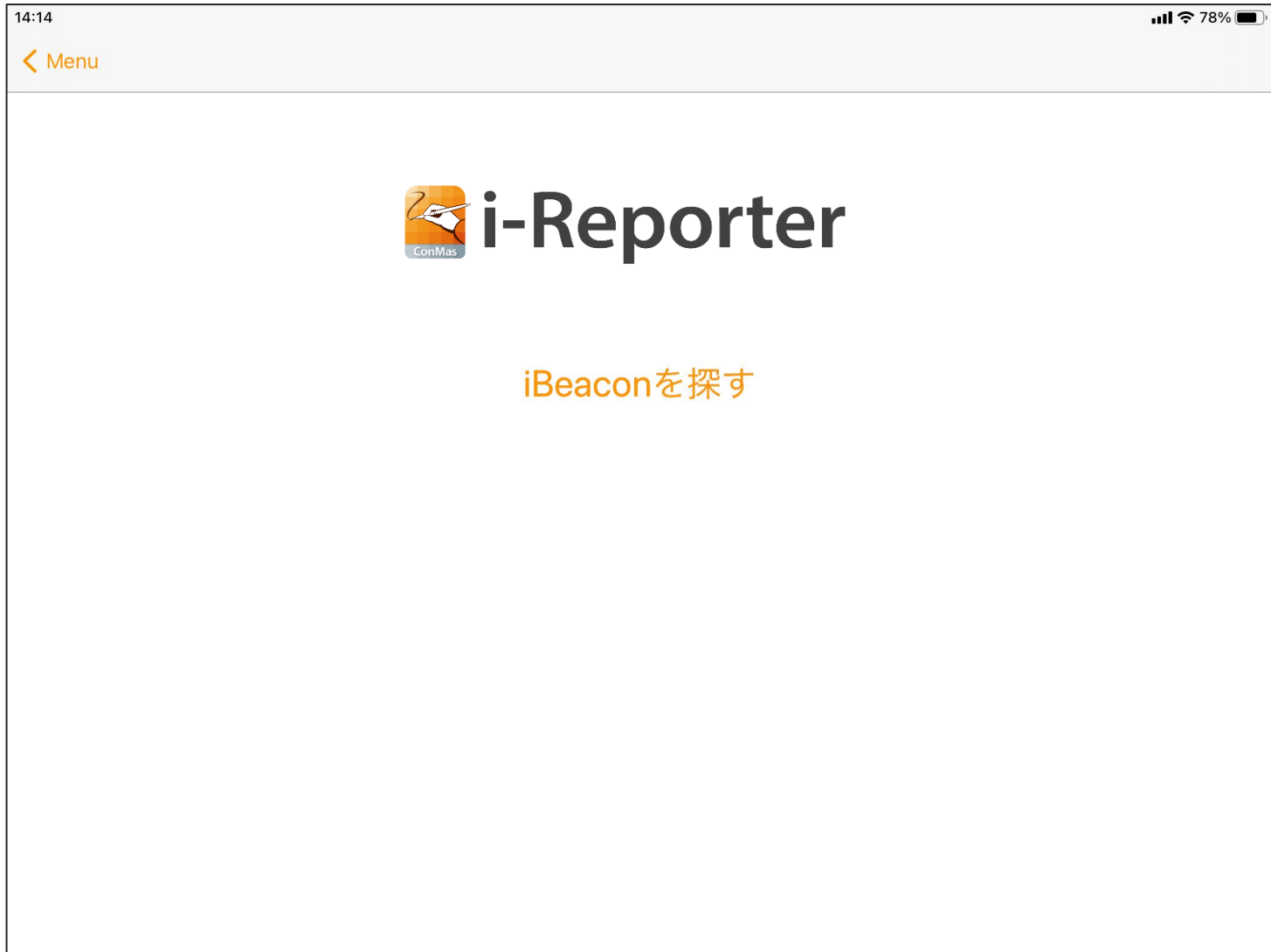
カスタムメニュー一覧

メニューボタンの動作設定

iPad読み取り画面 外付けバーコード



iPad読み取り画面 iBeacon



iPhone読み取り画面 外付けバーコード



デバイス待ち画面でのタイトルも設定可能

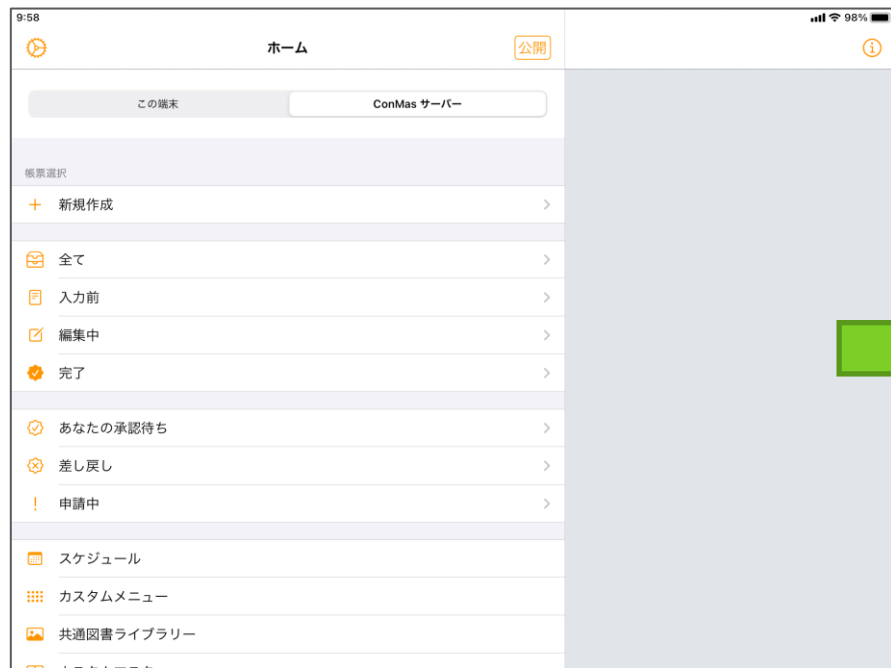
iPhone読み取り画面 iBeacon



ノーマルメニューのカスタマイズ

ノーマルメニューに任意の画像を設定できるようになりました。
カスタムメニューと同様、Managerで設定すれば、iPad,iPhoneでのログイン時に自動更新されます。

ノーマルメニュー カスタマイズなし



ノーマルメニュー カスタマイズあり



任意の画像の設定も可能となりました。

カスタムメニューからできること



● デバイスを使用しない

① 白紙の帳票定義を呼び出す

● デバイスを使用する

② 指定されたデバイスを起動する

→ デバイスで読む

→ **指定された帳票定義に**

読み取りコードを分解して複数クラスターに自動入力して帳票を起動する

③ 指定されたデバイスを起動する

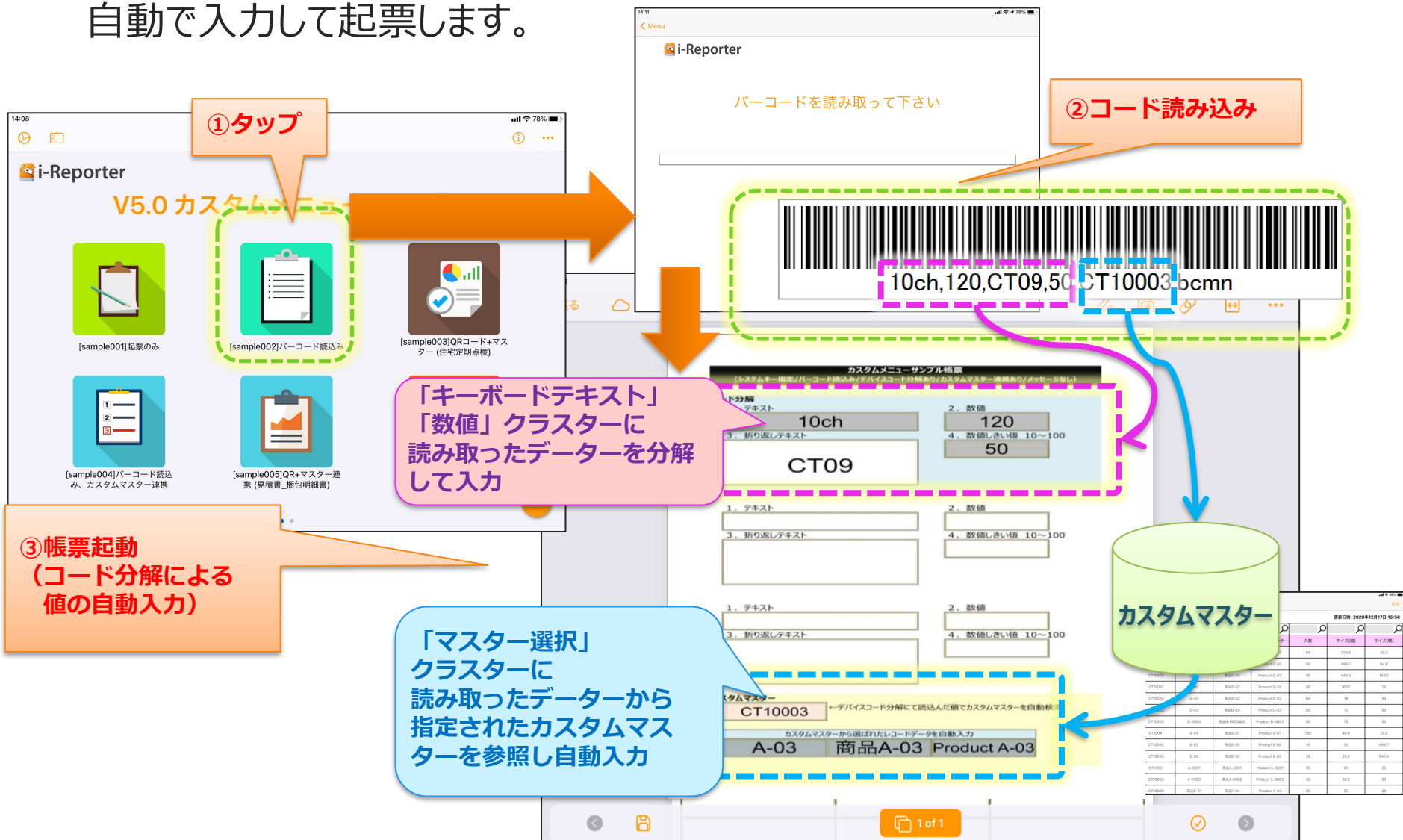
→ デバイスで読む

→ 読み取りコードから**帳票定義or帳票を検索**

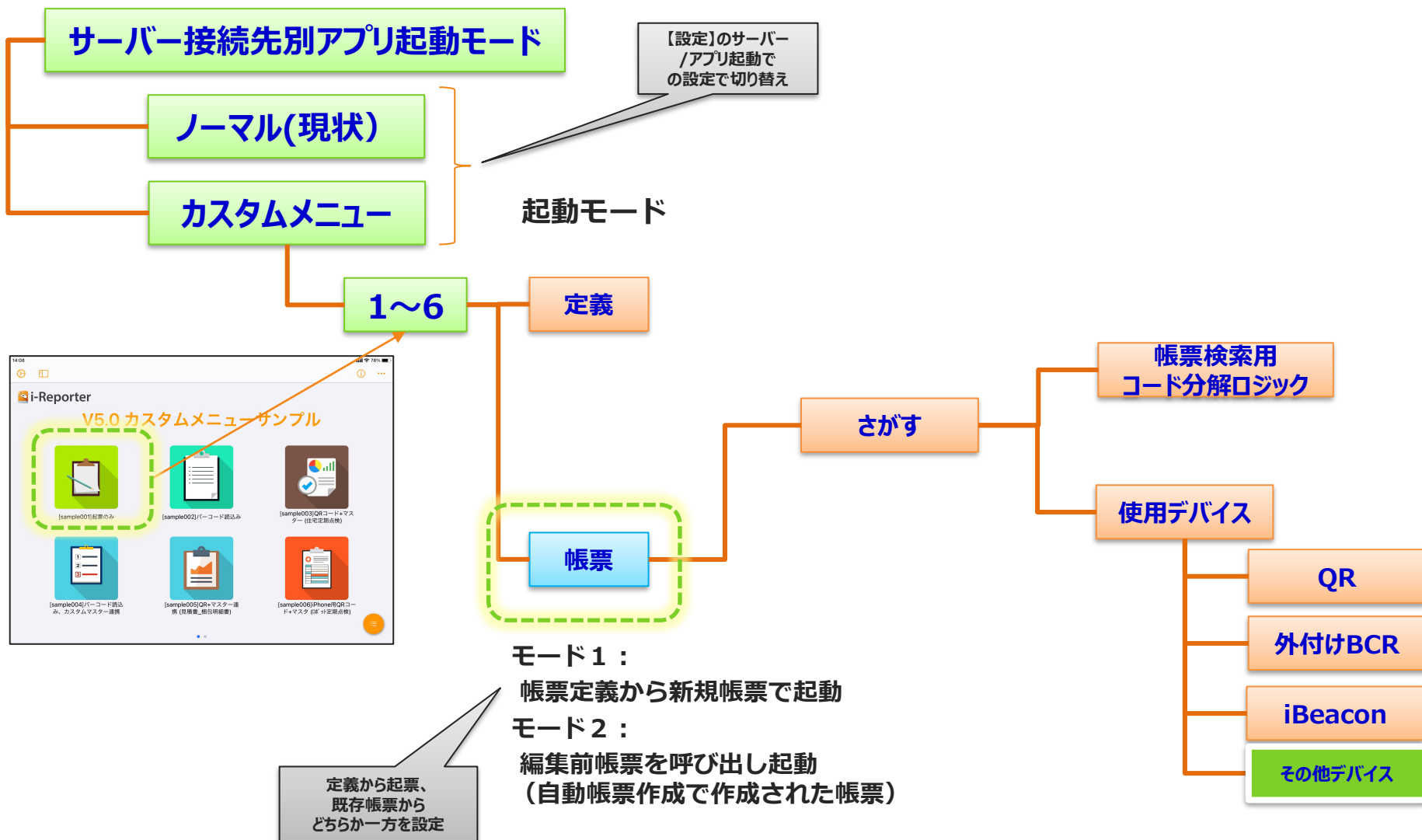
→ 読み取りコードを**分解して複数クラスターに自動入力して帳票を起動する**

デバイスが読んだコードを分解して起票します

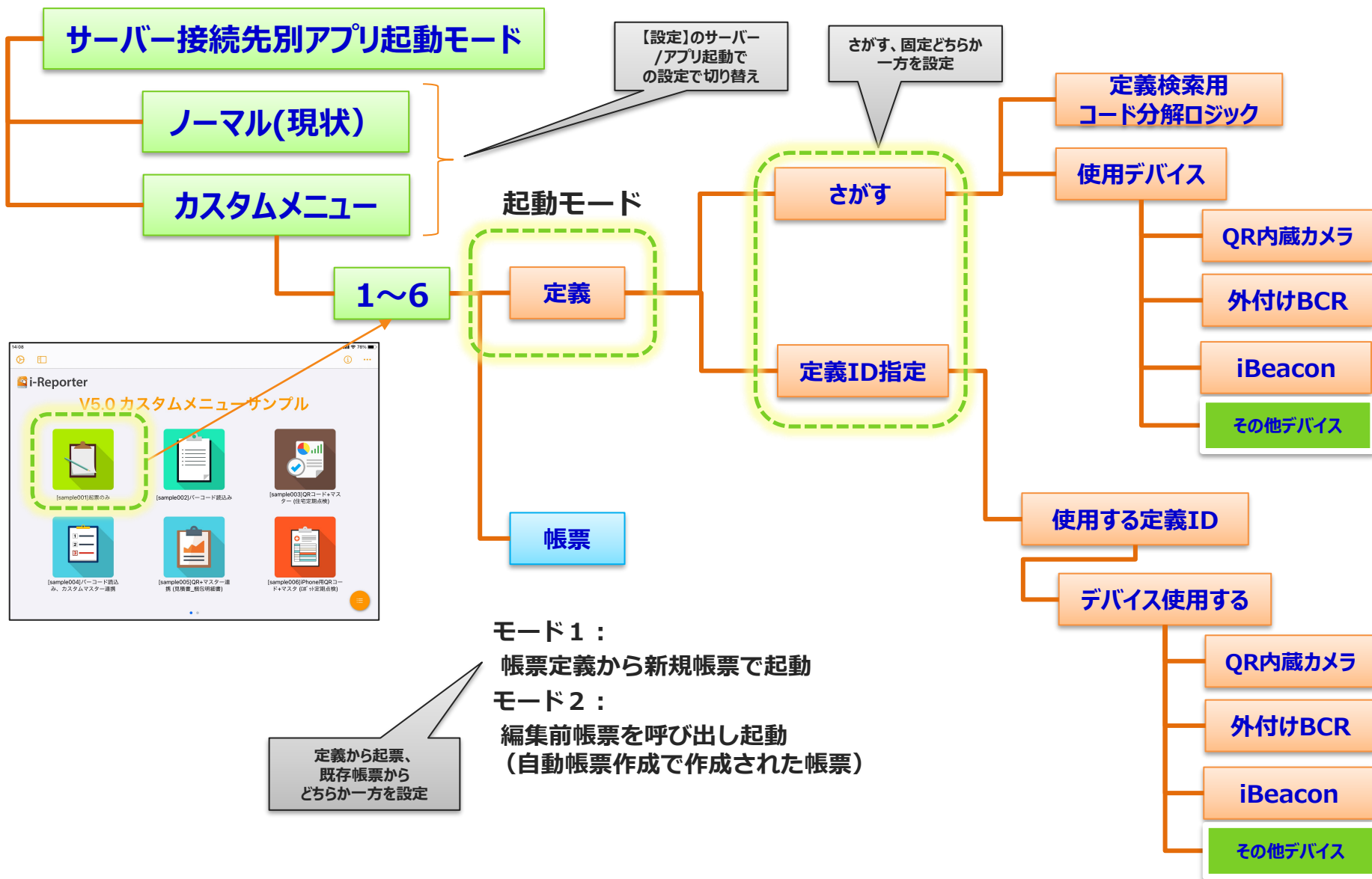
- デバイスを使用して読み取ったデバイスコードを分解し、帳票定義、入力帳票に値を自動で入力して起票します。



サーバー接続先別アプリ起動モード 1~6のメニューへの設定項目



サーバー接続先別アプリ起動モード 1~6のメニューへの設定項目



使用可能なデバイス

• iPad,iPhoneの内蔵カメラ

ー対応コード

UPC-A and UPC-E,EAN-8 and EAN-13,Code 39,
Code 93,Code 128,ITF, Codabar.RSS-14 (all variants),

QR Code, Data Matrix

※UPC-A、Codabarをご利用の場合は、i-Reporterアプリの一般設定にて、
「バージョン5.2.16082 以前の解析方式を使用する」を選択してください。



使用可能なデバイス

- Bluetooth接続バーコードリーダー
- iBeacon
 - iOS8 以上

デバイスが読み取るコードの分解方法

デバイスが読み取るコードの分解方法は、以下の3つの区切り文字タイプがあります。
読み取るコードのデータに対して「shift_jis」「utf-8」のいずれかのエンコード設定が可能です。

①カンマ区切り

コードデータを予め“,”（カンマ）で区切っておく事でデータを分解します。

0125,近藤益男,営業部



0125

近藤益男

営業部

データ番号1

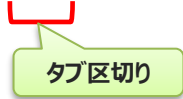
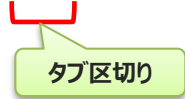
データ番号2

データ番号3

②タブ区切り

コードデータを予めタブで区切っておく事でデータを分解します。

0125 近藤益男 営業部



0125

近藤益男

営業部

データ番号1

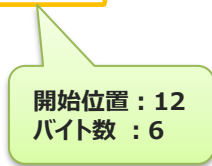
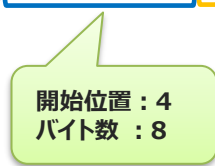
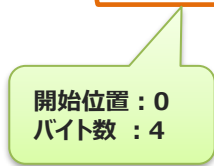
データ番号2

データ番号3

③バイト指定区切り

区切りの無いコードデータに対して開始バイト位置とバイト数を指定しておき、該当箇所のデータを抜き出します。

0125近藤益男営業部



0125

近藤益男

営業部

デバイスコードから帳票定義を探す

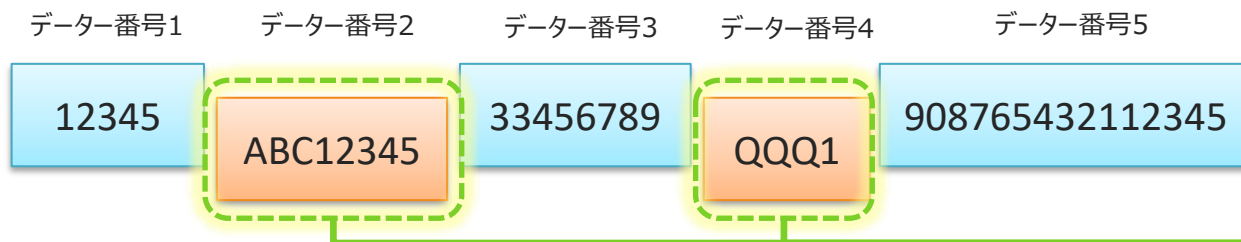
- 帳票定義に検索用のSYSTEMキー1～5をV5で新設。
- デバイスが読み取るコードを分解し、SYSTEMキーとマッチングさせることにより、定義を特定します。

– 区切り文字タイプ カンマの場合の例

- SYSTEM KEY1 →データ番号=2でマッチング
- SYSTEM KEY2 →データ番号=4でマッチング
- SYSTEM KEY3 →データ番号 設定なし
- SYSTEM KEY4 →データ番号 設定なし
- SYSTEM KEY5 →データ番号 設定なし

– デバイスから読み取るコードから

- データ番号2 = ABC12345 → SYSTEM KEY1 = ABC12345
 - データ番号4 = QQQ1 → SYSTEM KEY2 = QQQ1
- でマッチングして帳票定義を検索する。



帳票定義ID=4610

作成日			
作成者ID	作成者	役職	部署名
製造工場	製造工場	製造機種	製造機種
作業ID	製造工場	製造機種	製造機種
製造工場	製造工場	製造機種	製造機種
製品群	製造機種	製造機種	製造機種
部品名	製造機種	製造機種	製造機種
不具合内容			
発生日時	製造機種	製造機種	製造機種
LOT#	製造機種	製造機種	製造機種
加工時間	製造機種	製造機種	製造機種
不具合品数	製造機種	製造機種	製造機種
<状況>			

SYSTEM KEY1 = ABC12345
SYSTEM KEY2 = QQQ1

SYSTEM KEY3
SYSTEM KEY4
SYSTEM KEY5

デバイスコードからの帳票を探す

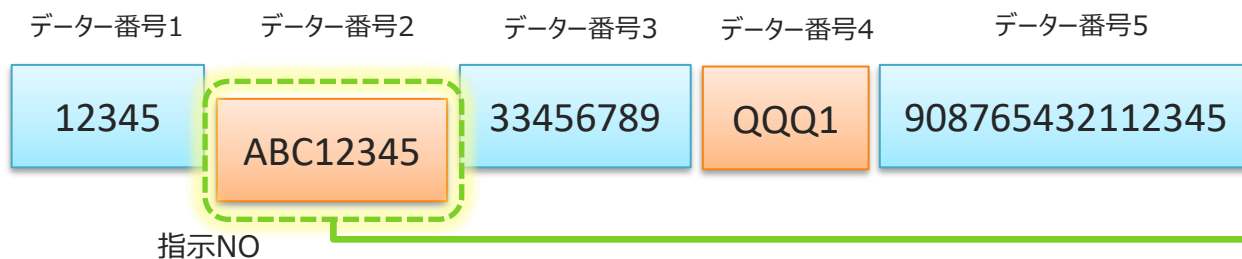
- 帳票に検索用のSYSTEMキー1~5をV5で新設。
- 自動帳票作成処理において設定する運用を想定。
- デバイスが読み取るコードを分解し、SYSTEMキーとマッチングさせることにより、定義を特定します。

– 区切り文字タイプ カンマの場合の例

- SYSTEM KEY1 →データ番号=2でマッチング 例) 自動帳票作成処理において指示NOを設定
- SYSTEM KEY2 →データ番号 設定なし
- SYSTEM KEY3 →データ番号 設定なし
- SYSTEM KEY4 →データ番号 設定なし
- SYSTEM KEY5 →データ番号 設定なし

– デバイスから読み取るコードから

- データ番号2 = ABC12345 = 指示NO.
→SYSTEM KEY1 = ABC12345でマッチングして帳票を検索



帳票ID=4612

作成日		作成者		役職		部署名	
作業ID	製造工場	製造工場	製造工場	製造工場	製造工場	製造工場	製造工場
製造工場	製造工場	製造工場	製造工場	製造工場	製造工場	製造工場	製造工場
製品群	製品群	製品群	製品群	製品群	製品群	製品群	製品群
部品名	部品名	部品名	部品名	部品名	部品名	部品名	部品名
不具合内容							
発生日時	LOT#	加工時間	発見場所	不具合品数	発生回数	発生率	発生率
LOT#	加工時間	発見場所	不具合品数	発生回数	発生率	発生率	発生率

SYSTEM KEY1 = ABC12345

SYSTEM KEY2
SYSTEM KEY3
SYSTEM KEY4
SYSTEM KEY5

指示NO

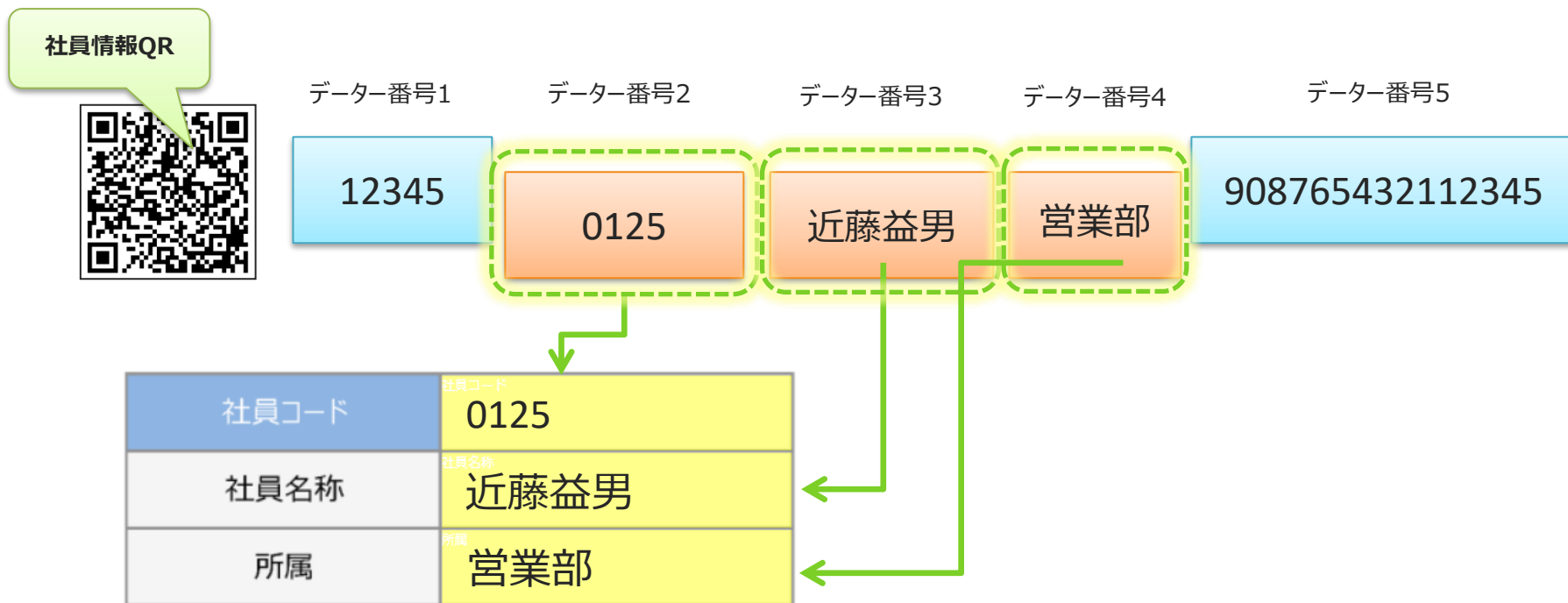
デバイスコードを分解して帳票ヘデータ入力

• 新規起票時に帳票にデータを自動入力する方法

- ①デバイスが読み取るコードを分解して複数のクラスターへ自動入力
- ②デバイスが読み取るコードを分解して、カスタムマスターのレコードキーと連携して複数のクラスターへ自動入力
- ③ひとつの帳票内で①②を混在させる入力も可能

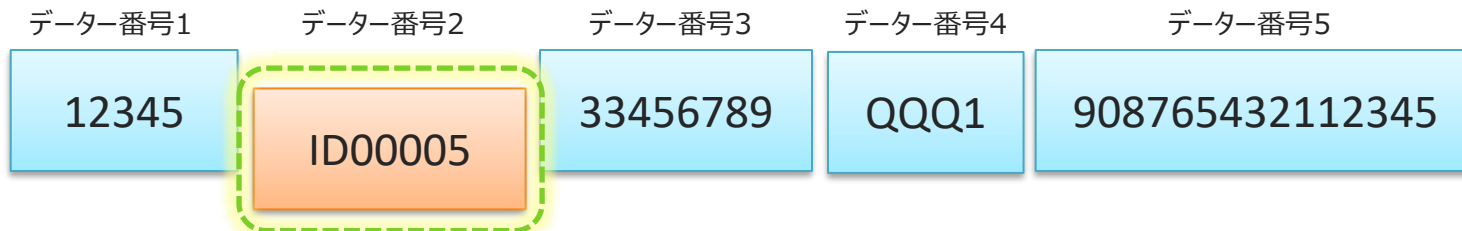
デバイスが読み取るコードの分解からの自動入力例

- V4のQR分解と同じ動作をします。
- 区切り文字タイプ カンマ、タブ、バイトのいずれかを指定します。
- デバイスが読み取るコードの分解例
 - 区切り文字タイプ カンマのとき → データ番号で指定
 - データ番号=2→クラスター：社員コードへ入力します
 - データ番号=3→クラスター：社員名称へ入力します
 - データ番号=4→クラスター：所属へ入力します

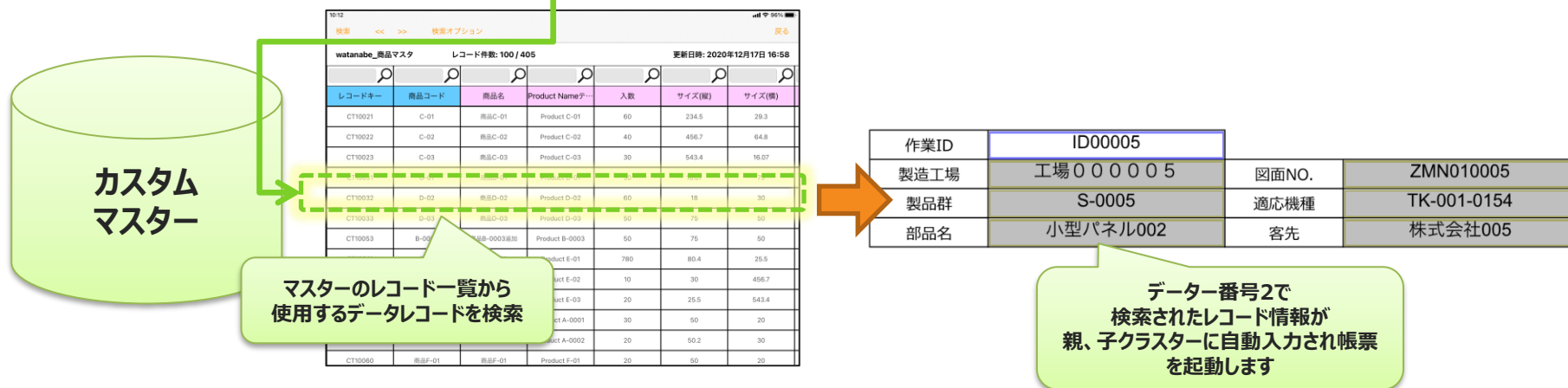


カスタムマスターの連携による自動入力

- 帳票に設定されたカスタムマスターから入力する複数のクラスターの入力をデバイスが読み取るコードから自動入力する。
- 区切り文字タイプ カンマ、タブ、バイトのいずれかを指定します。
- デバイスが読み取るコードからのカスタムマスタ連携の例
 - 区切り文字タイプ カンマのとき → データ番号で指定
 - データ番号=2 → マスターのレコードキーと設定



データ番号=2から→指定されたユーザーカスタムマスターからレコードキー=ID00005のマスターデータを取得して指定された複数のクラスターへ自動入力する。



通知メッセージ

通知メッセージ（定義、帳票に設定）

- 通知メッセージ（自動帳票作成での設定が可能）

- メッセージヘッダー

- メッセージアイコン

- 情報



- 注意



- 警告



- メッセージ本文

- メッセージ画像ヘッダー

- メッセージ画像

- 参照URL

- 利用開始日

- 利用終了日

通知メッセージ Managerでの設定

- 通知メッセージは、定義、帳票それぞれに設定可能。

ConMas Manager 有効期限: 2025/12/31 ログイン中: 渡邊 善 [ログアウト] Version: 8.0.21060





帳票定義 入力帳票 データ出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムマスター カスタムメニュー バインダー システム管理

通知メッセージ設定

▼帳票別メッセージ情報

元定義ID	1747
定義ID	1747
定義名称	【Sample】店舗監査報告書

▼通知メッセージ

アイコン	   情報 ● 注意 ○ 警告 ○
メッセージヘッダー	【連絡】春の交通安全運動
メッセージ本文	今月は春の交通安全運動月間です。 いつも通り交通安全を心がけましょう。
URL	https://cimtops-support.com/i-Reporter/ja/
メッセージ備考	
メッセージ画像ヘッダー	春の交通安全運動実施中！！
メッセージ画像	ダウンロード 
利用開始日時	2021/10/27
利用終了日時	

※Windows版は未対応です。

通知メッセージ



適用業務イメージ

プリント基板の検査工程での品質記録

QR貼り付けされたプリント基板



Bluetooth



30種類以上の
機種種の混流
ライン生産

② データを入力して
帳票を起動する

QRコードのデータ
を分解して一括自動
入力し帳票起動

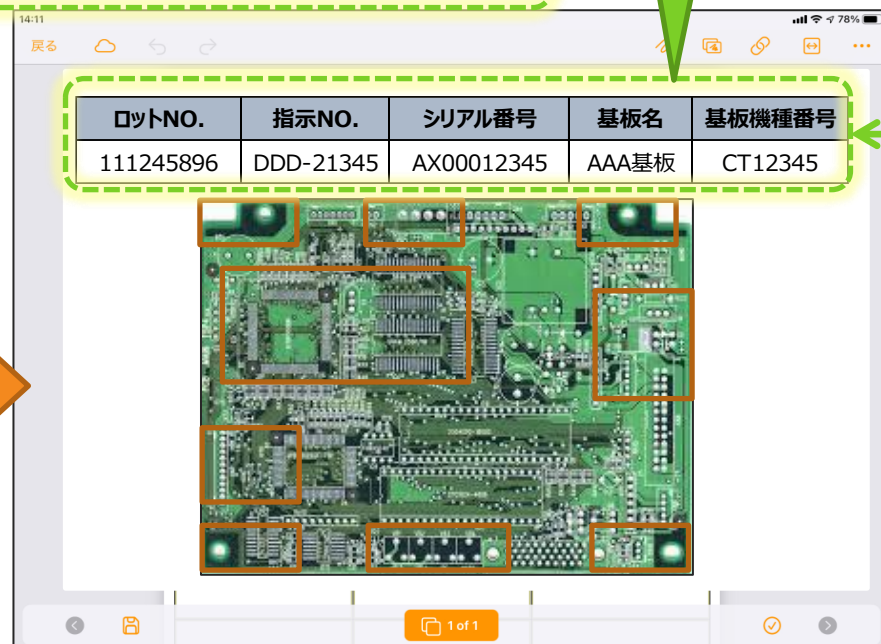
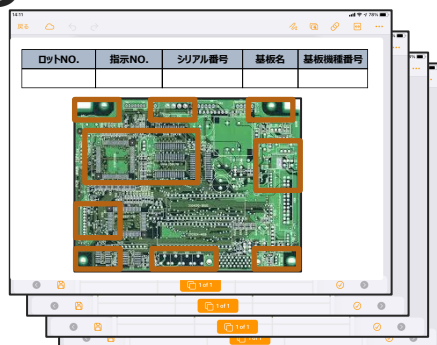
検査工程でQRを
外付けBCRで読み取り

QRコード読み取り結果

0111245896|CT12345|AAA基板,BBBユニット,AX00012345,2015/05/25,DDD-21345

基板機種番号 CT12345 =
SYSTEM KEY1から使用する
帳票定義を検索し取得。
機種が30種以上あっても
簡単に呼び出し可能。

① 30種以上の中から
その機種専用の
検査帳票を
見つける



店舗、設備機器の保守点検業務

店舗



機器



店内や対象機器などに
Beacon端末を貼り付け

Beaconが複数ある場合は
近い方に反応など

作業員がiPadで
ConMas i-Reporterを起動して
iBeaconを探すとBeacon端末の
発信信号を受信

①その店舗専用の
保守点検帳票を
見つける

iBeacon発信信号の受信結果

0111245896

ConMas
サーバーに必要な情報を問い合わせ

自動問い合わせ

作業内容の回答送信ダウンロード

帳票・図面・メッセージ注意事項

②店舗データなどを
自動入力して帳票を
起動する